

2032  
2016  
1 / 20

# 府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合  
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59  
電話 06(6941)0351・内線3740  
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541  
Eメール info@fusyokuro.gr.jp  
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp  
発行人/有田 洋明 編集人/小松 康則  
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

大会特集号



府職労  
第95回定期大会

# No Union No Life

## 私たちの思いと行動で、今も未来も輝く社会を

### 憲法と地方自治、民主主義の力で いのち・くらし・雇用を支える府政を



委員長あいさつ

執行委員長  
有田 洋明



維新府政の8年は「府民のための仕事」という当たり前のことがトップダウンで否定され続けてきた。府民の中にある閉塞感が強まるもと、府職員と住民が対立させられている。府職員

たい「府民の生活を守りたい」という府職員の誇りとやりがいがある今の大阪府を支えている。またも自治体と住民要求の実現をめざす住民共同を広げる方針と運動の具体

ため統治機構改革にまい進する」と述べると同時に「財政面をはじめぎりぎりの状況での府政運営が続く」など、厳しい財政状況を口実に人権すら無視する姿勢を示している。

勢を生み出している。「すべての労働者の賃上げ要求」を掲げて職場・地域から2016春闘に全力をあげよう。戦争法反対の運動では「民主主義って何だ」とい

うコールが国会前に響き渡った。府職労も毎週の宣伝をはじめ、国会前行動に青年・若手組合員を送り出した。安倍政権は「数の力」で強行したが、戦争法廃止2千万署名をはじめ、全方で取り組みをすすめる。夏には日本の未来を決める参議院選挙が行われる。衆参ダブル選挙を視野に入

れ、戦争法廃止と立憲主義を取り戻す一点共闘を追求しよう。安倍政権が狙う辺野古新基地建設をはじめ、TPP、消費税増税、介護・医療大改革など悪政にストップをかける共同の運動をひろげよう。組合員拡大こそ要求実現

12月11日、府職労は第95回定期大会(大阪府関係職員労働組合第11回定期大会・大阪府職員労働組合第95回定期大会・大阪府立病院機構労働組合第11回定期大会)をエルおおさか南館ホールで開催しました。代議員定数107名中92名の代議員と傍聴者が出席し、2016年度運動方針案をはじめ、すべての議案を全会一致で可決しました。

また、「平和の尊さ・大切さを次世代へつなげよう! 戦争法を廃止し、今こそ憲法の理念を輝かせ、いのち・くらしにいかす特別決議」も採択しました。

大会では、府職労と病院労組の各支部、環農水研労組、産技研労組、府公職間の職場・地域での豊かな経験にもつづき、貴重な教

訓が語られ、さまざまな攻撃が続くものであっても、職場・地域でのとりくみや仕事を通しての自治体労働

### 府職労結成70周年へ、住民共同と組織の強化・拡大で府職労運動をさらに発展させよう

府職労は、定期大会の成功を受けて、みんなで決めた方針を組合員みんなで実践する立場で、戦争法の廃止、誰もが平和に人間らしく働ける社会、府民のためにやりがいをもって仕事ができる職場を実現するために、引き続き奮闘します。

の最大の保障だ。数の上でも「大阪府で働く職員と住民の頼りになる労働組合」をめざそう。組合活動の基

本は「組合員が主人公」の運動だ。1人ひとりが仲間を増やしてお互いに成長し、全員参加の活動を大きくひろげ、明るく動きがある職場をつくっていくこ

う。来年4月6日、府職労を結成して70周年を迎える。実行委員会を立ち上げ、組合員やその家族など参加型の企画をすすめたい。憲法を職場と住民のくらしのすみずみに生かす府政の実現をめざそう。

### 「組合員が主人公」の運動で 全員参加の活動を広げよう

「No Union No Life」は「当たら前」が「当たり前」でなくならないように。

No Union No Life  
府職労第95回定期大会のメインスローガン  
▼ここには「労働組合(Union)がなければ生活や命(Life)は守れない」という思いと「労働組合(Union)は人生(Life)を支えるうえで必要なもの」という思いが込められている▼昨年末、居酒屋「和民」で過労死した女性(当時26歳)の遺族とワタミ(株)の和解が報道された。過労死した女性は2008年春に入社、神奈川県の店舗で働き、同年6月に自殺した。残業は国の過労死認定ライン(月80時間)を超える月約141時間に上り、彼女は自殺前に「体が痛い、辛い」「早く働けなく」「誰か助けて」との手記を残している。もし、彼女の身近に労働組合があれば、死を選ばなかったのではないか...そんな思いに駆られる▼私たちの周りには、長年年月をかけて労働組合が実現してきたものばかりだ。しかし、労働組合の組織率の低下とあわせて、昨今ではこうした権利が後退させられたり、事実上行使できない事態になっている。No Union No Life「当たら前」が「当たり前」でなくならないように。

### 遊歩道